

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験解答用紙(前期)
法律学科・地域環境政策学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理)【地理B】

※ 受験番号は算用数字で記入し、希望学科は、該当するものを○でかこむこと。(2枚目以降も必ず記入すること)

受 験 番 号						志 望 学 科		氏 名	
0	0	0	0	0	0	1	法 律 学 科 地域環境政策学科 企業システム学科	社会文化学科 人間福祉学科	沖 国 太 郎

得 点

I 問1
各1点
順不同

北アメリカ	南アメリカ	アフリカ	ユーラシア	オーストラリア	南極
-------	-------	------	-------	---------	----

I 問2
各1点
順不同

大西洋	太平洋	インド洋
-----	-----	------

I 問3
各1点

①	②	③	④	⑤
ウ	オ	キ	コ	サ

I 問4
各2点

A	B	C	D	E
海嶺	海溝	大陸棚	プレート	プレートテクトニクス ※大陸移動説だと1点

I 問5
4点

大陸棚は浅く明るいためプランクトンが発生しやすく優れた漁場となり、水産業が盛んである。また、海洋資源(油田・鉱物などの)開発などもおこなわれている。

I 問6
2点

ウラル山脈 (アパラチア・スカンジナビア・グレートディバイディング・ペニン・テンション・ドラケンスバーグ など)

I 問7
2点

ヒマラヤ山脈 (アルプス・ロッキー・アトラス・アンデス・ピレネー など)

II 問1
各2点
順不同

①	②
アメリカ	イギリス

II 問2
2点

OPEC

II 問3
4点

巨大な資本力の政治力、高度な技術を背景に、石油の探査・採掘から輸送・精製・販売までを行なう国際的な石油会社の総称をいう

II 問4
4点

発展途上国などにみられる自国内の天然資源に対する主権の確立や、それらを元に自国の経済発展を図ろうとする動きをいう。1950年代から活発になり、現在では各種の資源カルテルが結成されている。

II 問5
4点

産油量の削減と価格高騰によって生じた経済混乱のこと。1回目は1973年の第4次中東戦争時に起きた。非産油国は深刻なエネルギー不足となり、日本でも物資の不足、物価の高騰、消費者の買いだめなどの混乱が生じた。

II 問6
5点

地下数千メートルのシェール層(頁岩)から採掘される天然ガスをシェールガス、原油のことをシェールオイルという。

2019(平成31)年度 沖縄国際大学入学試験解答用紙(前期)
法律学科・地域環境政策学科・企業システム学科・社会文化学科・人間福祉学科(心理)【地理B】

※ 受験番号は算用数字で記入し、希望学科は、該当するものを○でかこむこと。(2枚目以降も必ず記入すること)

受 験 番 号						志 望 学 科		氏 名
0	0	0	0	0	0	法 律 学 科 地域環境政策学科 企業システム学科	社会文化学科 人間福祉学科	沖 国 太 郎

問 7
2 点

シェール

問 8
5 点

地下水汚染や地盤沈下など環境に与える影響が心配される。

問 9
4 点

頁岩(シェール)という固い岩盤のすきまに閉じ込められた天然ガスやシェールオイルを指す。その産出地域は北米、ヨーロッパ、オーストラリア、中国、インドなど従来のガス田、油田ではない場所から産出され世界に広く分布している。一方の産油国は西アジアなど特定の地域に分布している。

Ⅲ

問 1
各 2 点

10m	主 曲 線	50m	計 曲 線
-----	-------	-----	-------

問 2
各 2 点

①	②
サンゴ礁	崖

問 3
2 点

③
村役場

問 4
3 点

約650m

問 5
5 点

栗国村の東区と西区は、西側から東側へゆるやかな斜面上に立地している。両区とも集村形態を示し、格子状に展開する進路網と屋敷地の配置がみてとれる。

問 6
5 点

戦後、栗国島は若年層の人口流出により大きく人口を減らしてきた。高等学校がないことで、中学校を卒業すると同時に、沖縄本島の中南部地域へ移動し、その後、島に戻らないケースが多い。また村では、農業など第一次産業を基盤とするため、その他の産業が思うように展開しなかったことも、人口減少の大きな要因である。

問 7

地形の名称	2 点	断 層
形成の要因	3 点	栗国島でみられる段差のある地形は、地震などの地殻変動(内的営力)で地殻の一つの面または帯を境にして、相対的にずれたために形成されたものである。 正断層と逆断層がある。

問 8
6 点

